

混合交通を観察する
DOCUMENT
series—181
Eye

●郊外でチャイルドシートの使用状況を観察する
乳幼児298人中、チャイルドシート使用129人

●WHY

チャイルドシートを
どれくらい子どもが
使用しているのか?

平成12年4月より、自動車に6歳未満の乳幼児を同乗させる際には保安基準および発育の程度に適合したチャイルドシ

ートの使用が法律で義務付けられている。しかし、平成14年をピークに、ここ3年間はチャイルドシートの使用率が徐々に低下している(警察庁/JAF調べ)。このほか、チャイルドシートを取り付けているのに実際は使用していなかったり、親に抱きかかえられている乳幼児の姿も数多く見かける。チャイルドシート使用の義務化から6

●WATCHING

車内を歩き回ったり
母親の膝に座っている
子どもも多数

観察場所は横浜市北部の地下鉄「センター南」駅周辺。映画館や子ども向けの店舗等が多く、休日になると多くの子ども連れが家族がクルマでやってくるエリアだ。観察は日曜日の昼間に、商業施設の3カ所の駐車場に出入りする子ども連れのクルマを対象に、チャイルドシートの使用状況について観察した。

観察の結果、6歳未満の乳幼児を乗車させていた車の合計は287台。多くは家族連れで、チャイルドシートの使用が義務づけられている6歳未満の乳幼児298人のうち、実際にチャイルドシートを使用していたのは助手席32人、後部座席97人の計129人で、観察地点でのチャイルドシートの使用率は43.2%だった。

実際にはチャイルドシートを取り付けているにもかかわらずチャイルドシートを使用せずに、車内で立っていたり、母親に抱きかかえられている例も多かった。6歳未満の乳幼児にチャイルドシートを使用していないクルマのドライバーのシートベルト着用率は87.5%(144台中126台)。乳幼児にチャイルドシートを使用しているドライバーではシートベルトの着用率が93.0%(143台中133台)であったことから、シートベルトを締めているドライバーの方が、より子どもの安全に配慮がある傾向がみられた。

また、助手席の小学生でジュニアシートを使用して座高を調整、ヘッドレスト



●観察場所/神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 地下鉄「センター南」駅周辺
●観察日/2月6日(日曜日)
●天候/晴れ
●観察時間/12:30~13:30(1時間)
●観察者/4名

チャイルドシートを使用せずに、車内で立って遊んでいる子ども。車内を歩き回る子どもの姿も見られた

●乳幼児のチャイルドシート等の使用状況

	乳児	幼児	シートベルト	いずれも不使用	合計
助手席	2	30	8	58	98
後部座席	24	73	3	100	200
合計	26	103	11	158	298

※乳児、幼児の判断は観察者の見解による

●PROPOSE

子どもの命を守る
チャイルドシートは
正しく使用を

時速40kmで強固な壁などへ衝突した際に子どもが受ける衝撃は体重の約30倍である。この重さは大人の腕で支えきれないものではないため、大人がだっこしていた

部分に頭をあわせ、衝突時に首が受ける衝撃を和らげているという例も見かけた。

クルマに乗るときは大人はシートベルトを、子どもはチャイルドシートの正しい使用を徹底してほしい。

また、チャイルドシートを助手席で使用している例も見られたが、SRSエアバッグが装備されている場合、助手席で後ろ向きに使用すると、エアバッグ作動時にチャイルドシートが飛ばされたり、クルマのシートにたたきつけられるなどして、重大な傷害を負う可能性がある。チャイルドシートは後部座席に取り付けるのが望ましい。



写真上/助手席で母親に抱きかかえられている子どもも多数。このような場合、母親もシートベルト非着用が多かった
写真下/チャイルドシートではなく、シートベルト着用の幼児

月刊「ザ・セーフティジャパン」
2004年分縮刷版発行

日頃よりS Jをご愛読いただき、ありがとうございます。本紙では交通安全教育にかかわる様々な話題を取り上げ、充実した紙面づくりに努めております。本紙2004年分の縮刷版をご希望の方に販売いたします。切手2000円分を同封の上、下記までお申し込みください。
〒107-0062 東京都港区南青山3-4-7 第7SYビル6階
(株)アストクリエイティブ「SJ縮刷版」係